

令和5年度予算概要

施設運営事業会計

本会計は、名古屋港の港勢の発展を図り、公共の福祉の増進に寄与するために昭和39年度から地方公営企業法の財務規定等を適用し、現在は、上屋、貯木場、荷役機械及び埠頭用地を提供する事業を行っている。

令和5年度は、上屋25棟、貯木場8か所、荷役機械5基、埠頭用地2,401,671㎡の提供を予定している。

令和5年度提供施設等の管理運営を主とする収益的収支予算のうち、収入は42億3,700万円で、主なものは、上屋関係9億2,175万7千円、貯木場関係3億2,415万6千円、荷役機械関係1億3,200万1千円、埠頭用地関係26億1,563万円の各使用料・貸付料及びその他営業収益1億1,694万9千円のほか、長期前受金戻入等の営業外収益1億2,649万7千円である。

一方、支出は30億7,500万円で、前年度と比べて0.5%減となっている。その主なものは、上屋関係3億2,810万9千円、貯木場関係2億954万9千円、埠頭用地関係4億3,209万5千円の各施設等の管理運営に直接要する経費のほか、一般管理に要する費用1億6,598万1千円、上屋・貯木場・埠頭用地の各施設等の維持補修費として4億1,800万円、共通経費等一般会計負担金8億5,349万円及び固定資産の減価償却費4億7,396万6千円のほか、営業外費用1億1,823万6千円、施設撤去に伴う特別損失6,530万円である。

建設改良等の予算としての資本的収支予算のうち、支出は29億6,900万円で、前年度と比べて41.6%増となっている。その主なものは、金城ふ頭埋立工事等の建設改良費19億5,181万円、企業債の償還金4億1,945万4千円、名古屋四日市国際港湾株式会社に対する貸付金5億9,400万円である。

一方、その財源としては、埠頭用地整備及び名古屋四日市国際港湾株式会社に対する貸付金に充てる企業債7億9,600万円、埠頭用地整備に伴う負担金収入7億4,700万円を予定し、なお資本的収入が支出に不足する額14億2,600万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものである。

収入

会計区分	令和5年度予算額 (千円)	令和4年度予算額 (千円)	対前年度比較増減額 (千円)	対前年度比較伸率 (%)
施設運営事業	5,780,000	4,417,000	1,363,000	30.9
施設運営事業（収益的収入）	4,237,000	3,971,000	266,000	6.70
施設運営事業（資本的収入）	1,543,000	446,000	1,097,000	346.0

支出

会計区分	令和5年度予算額 (千円)	令和4年度予算額 (千円)	対前年度比較増減額 (千円)	対前年度比較伸率 (%)
施設運営事業	6,044,000	5,187,000	857,000	16.5
施設運営事業（収益的支出）	3,075,000	3,090,000	-15,000	-0.49
施設運営事業（資本的支出）	2,969,000	2,097,000	872,000	41.6

埋立事業会計

本会計は、名古屋港の港勢の発展と臨海用地開発を図り、もって公共の福祉の増進に積極的に寄与することを目的として、昭和39年度から地方公営企業法の財務規定等を適用し、鋭意、臨海用地造成事業を進めている。

現在進めている主な造成事業は西部臨海土地造成で、第1貯木場南埋立地及び稲永ふ頭埋立地において用地整備を進めている。また、第1貯木場北側埋立地においては、土地造成を目的とした護岸整備等を進めている。

埋立しゅん功地における土地売却状況は、令和4年度末で、売却予定面積に対し、98.0%が売却済みである。

企業の立地状況は、南部地区においては、新宝ふ頭の自動車輸出基地、東海元浜ふ頭の製鉄、北浜ふ頭及び南浜ふ頭の電力、石油精製等の基幹産業が進出している。また、西部地区においては、電力、木材、航空宇宙産業、造船、鋼材加工業等が立地し、特に飛島ふ頭には、コンテナふ頭の背後に一大流通基地として倉庫が林立し、活気に満ちている。

令和5年度の清算地区の土地売却及び維持管理を主とする収益的収支予算のうち、収入は3億8,700万円、主なものは、受取利息、埋立地貸付料等の営業外収益3億8,698万円である。

一方、支出は6億5,600万円で、主なものは、一般管理費、維持補修費等の営業費用6億1,074万8千円及び雑支出等の営業外費用3,523万2千円である。

これらの収益的支出予算の対前年度比率は22.0%減となっている。

次に、臨海用地造成を主とする資本的収支予算のうち、収入は11億100万円で、雑収入が6億3038万5千円、貸付金返還金が4億7,061万5千円である。

一方、支出は8億4,600万円で、西部地区埋立事業費5億320万円、南5区埋立事業費6,300万円、総係費2億152万4千円、雑支出7,827万6千円である。

これらの資本的支出予算の対前年度比率は10.2%減となっている。

収入

会計区分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	対前年度比較増減額	対前年度比較伸率
	(千円)	(千円)	(千円)	(%)
埋立事業	1,488,000	1,290,000	198,000	15.3
埋立事業 (収益的收入)	387,000	377,000	10,000	2.7
埋立事業 (資本的收入)	1,101,000	913,000	188,000	20.6

支出

会計区分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	対前年度比較増減額	対前年度比較伸率
	(千円)	(千円)	(千円)	(%)
埋立事業	1,502,000	1,783,000	-281,000	-15.8
埋立事業 (収益の支出)	656,000	841,000	-185,000	-22.0
埋立事業 (資本の支出)	846,000	942,000	-96,000	10.2